

2004年8月アルゼンチンの政治情勢

2004年9月作成
在アルゼンチン大使館

1. 概要

引き続き、治安問題及びピケテロ問題を中心に内政が動いた。政府は、国内治安庁を司法省から内務省の下に移行させ、大統領主導で治安対策に臨む姿勢を国民に示したが、4月1日に続いて、ブルンベルグが7万5000人の大規模集会を成功させ、連邦議会及びブエノスアイレス州政府に対して、一層の治安改善策を求めた。ピケテロとの関連では、極左集団も加わった31日の大統領府前でのデモ活動で、連邦警察との衝突により、108名の逮捕者、警察を含む28名の負傷者が出た。

外交面では、ラゴス・チリ大統領やアモリン・ブラジル外相等が亜を訪れた。チャベス・ベネズエラ大統領の罷免に関する国民投票の結果に対して、亜は、チャベス大統領の勝利を祝福した。

2. 内政

(1) 治安問題

(イ) 20日、政府は、州と一層協力して治安対策に取り組むため、また大統領主導で治安対策に臨む姿勢を国民に示すため、国内治安庁を司法省から内務省の下に移行させることを定めた大統領令を発出し、23日付官報に掲載された。国内治安庁は、2002年7月、ドゥアルデ政権下で内務省から司法省に移された経緯があり、今回の決定により、国内治安庁は再び内務省の管轄に戻るようになった。同管轄移行に伴い、通称司法省は「司法・治安・人権省」から「司法・人権省」に変更となった。なお、内務省の名称に変更はない。

(ロ) 26日、連邦議会前において、ブルンベルグは治安改善等を求めるデモを行なった。ブルンベルグがデモを行なうのは、4月1日、4月22日に続く3度目のことであるが、当地報道機関によると中産階級の市民を中心に約7万5000人が集まった（政府公式発表：約3万人、主催者側発表：約18万人）。

今次、デモの対象は連邦議会及びブエノスアイレス州であり、ブルンベルグはシオリ上院議長（副大統領）、カマーニョ下院議長及びソラ・ブエノスアイレス州知事に対して、それぞれ嘆願書を渡した。

(ハ) 今回のデモでは、ブエノスアイレス州政府を特に批判の対象としたことや選挙制度の改革等政治改革も求めたことで、4月1日のデモとは異なった。

(2) ピケテロ

(イ) 4日、約1600名に及ぶ連邦警察官が警備する中、7月16日のブエノスアイレ

ス市議会襲撃の発端となった市民共同生活条例改正案の審議を行っていたブエノスアイレス市議会、連邦議会、最高裁判所付近等において、同審議の反対等を求めて、CCC、MIJD、PO等の約1万2000人の様々なピケテロによるデモ活動が行われた。

同デモは、ロサッティ新司法相の下での初めて大型デモであったが、拳銃を携行しない大量の警察官の配備並びにパリーリ大統領府長官及びイリバルネ国内治安長官等当局とピケテロ側の暴動を避けるための事前の話し合いにより、大きな衝突は起こらなかった。

(ロ) 5日、ブエノスアイレス州ラプラタ市において、強硬派ピケテログループCTD-Anibal Veronのメンバー約70人は大型スーパーマーケット・カレフル(仏系)に対して、8日の子供の日(子供の日)に学校で配るために3000個の玩具品を求めるデモ活動を行なった。同ピケテログループは、駆けつけた同州警察官に対して石を投げつける等の行為を行ったため、警察側はゴム弾や催涙ガスにより応戦した。この衝突により9名の警察官及び6名のピケテロ活動家が負傷、また3名の逮捕者が出たところ、前日の連邦政府の対応との差異が目された。

(ハ) 25日及び26日、強硬派ピケテログループMTD-Anibal Veron等は、プエイレドン橋(ブエノスアイレス市南部郊外)を封鎖する等の抗議行動を行なった。

(ニ) 31日、大統領府周辺において、MIJDを中心とする強硬派ピケテログループが、チャコ州のカジノ占拠事件における脅迫容疑で25日に逮捕されたMIJDカステルス代表の釈放を要求するデモを行なった。同時に、少数派極左集団のケブラッチョも、重を訪問中のラトIMF専務理事に対する抗議行動を実施した。

その後、ケブラッチョ関係者が投石等の行為に出た際、警察が催涙ガス及びゴム弾で応酬して一時緊張が高まったが、混乱は短期間で治まった。同衝突により、108名の逮捕者、警察を含む28名の負傷者が出た。

(3) 労働組合

(イ) 6日、統一した労働総同盟(CGT)の共同代表者3人は、再びキルチネル大統領と会談し、不法外国人労働者の合法化に関する方法等について話し合った。

(ロ) 11日、モジャノCGT代表は、CGT本部において強硬派ピケテログループMIJDカステルス代表と会談を行なったが、右行為はCGT幹部内で不協和音を引き起こした。

(4) 最高裁

(イ) 24日、最高裁は、1974年にブエノスアイレスで起きたチリ人プラッツ将軍殺害上訴審において、人類に対する罪に時効はないとの判断を下した。これにより、最高裁が、今後軍政下での人権侵害の責任を不問とする免責法に違憲判断を下す可能性が高まったと見られている。

(ロ) 25日、議会による弾劾の可能性が高かったバスケ最高裁判事は、政府を批判したことにより自分の車が襲撃されたと述べた(注:同判事は、9月1日に辞任した)。

3. 外交

(1) チリ

(イ) 13日、ビエルサ外相は、チリにおいてラゴス大統領及びアルベアル外相と会談した。同会談において、両国は、Pascua-Lama 鉱山採掘共同計画（亜側はサンファン州、チリ側はアタカマ州に位置する地域）のための議定書に署名した。

また、ビエルサ外相は、6月14日（同日はマルビーナス島民にとっては解放の日であるが、亜人にとってはマルビーナス紛争敗北の日となっている）にフェルナンデス駐英国チリ大使が、ロンドンにおいてマルビーナス紛争の英国勝利を祝うパーティーに出席したとして、懸念を表明した。これに対し、ロメロ・チリ上院外交委員長は、同大使の出席が軽率な行動であったと述べた。

(ロ) 31日、ラゴス・チリ大統領が亜を訪問した。ラゴス大統領は、亜議会で詩人ネルーダの生誕100年を記念する展示会のオープニングに出席した後、キルチネル大統領と会談した。同会談において、キルチネルはチリ亜平和友好条約20周年を祝うための11月後半のチリ訪問に言及し、ラゴスは満足の意を表明した。また、両大統領は、インフラ事業における官民の投資を通して両国の統合を推進することについて話し合った。

(2) ブラジル

(イ) 8—9日、亜を訪れたアモリン・ブラジル外相は、キルチネル大統領、ラバーニャ経済相及びビエルサ外相等と会談した。

(ロ) 同会談において、キルチネル大統領は、ブラジル企業が関与する石油関連事業（ガスパイプラインの拡大計画）問題を取り扱った。同外相は、この問題をルーラ・ブラジル大統領に伝えること及び両国の関係強化を約束した。他方で、キルチネル大統領は、9月20日に予定されている国連貧困サミットに出席すると述べ、アモリン外相はこれを歓迎した。

(3) ベネズエラ

16日、チャベス・ベネズエラ大統領の罷免を問う国民投票の結果に対して、亜外務省はコミュニケを発出し、チャベス大統領の勝利とベネズエラ国民の大規模かつ平和的な参加を祝福した。

(4) パナマ

(イ) 6日、キルチネル大統領は、大統領府において、トリホス・パナマ次期大統領と会談した。

(ロ) トリホス次期大統領は、パナマとメルコスールや他の地域ブロックとの統合を進めることに関心を示した。

(5) エジプト

(イ) 30日から9月3日にかけて、ビエルサ外相はエジプトを訪問した。

(ロ) 30日、ビエルサ外相は、エジプトのアレクサンドリア図書館と亜国立図書館との文化協力協定に署名した。

(ハ) 31日、ビエルサ外相は、ムバラク・エジプト大統領と会談し、二国間貿易や核エネルギー開発等のテーマについて話し合った。また、ビエルサ外相は、ムサ・アラブ連合事務総長と会談し、亜がアラブ連合へオブザーバーとして参加したい旨表明した。

(6) リオグループ外相会議

(イ) 19-20日、ブラジルにおいてリオグループ外相会議が行われ、亜からはビエルサ外相等が出席した。

(ロ) 同会議において、アモリン・ブラジル外相は、キューバと同グループの対話の開始に関する提案を行ない、亜は同提案を支持したが、全参加国の同意を得ることが出来なかった。

(ハ) その他、IMFに対して何らかの提案を持って対応する必要性、新貸付機関創設、ハイチにおける軍事問題等について話し合った。

(7) 要人往来

(イ) 来訪

4日、 カルデロン・コロンビア副大統領

6日、 トリホス・パナマ次期大統領

8-9日、 アモリン・ブラジル外相

31日、 ラゴス・チリ大統領

31日、 ラト IMF 専務理事

(ロ) 往訪

9-10日、 ロサッティ司法相、世銀の国際投資紛争解決センター (ICSID) で亜を代表するためパリへ

12日、 パンプーロ国防相、アレクサンドレ大統領と会談するためハイチへ

12-13日、 ビエルサ外相、ラゴス大統領等と会談するためチリへ

16日、 ビエルサ外相、フェルナンデス大統領就任式出席のため、ドミニカ共和国へ

17日、 ビエルサ外相、Knight 外相と会談するため、ジャマイカへ

18-19日、 ビエルサ外相、リオグループ外相会議出席のため、ブラジルへ

19-20日、 デビード公共事業相、メサ大統領と会談するため、ボリビアへ

25日、 ビエルサ外相、ソリス劇場改築完成式典に出席するため、ウルグアイへ
30日ー9月3日、ビエルサ外相、モハメド大統領等と会談するため、エジプトへ